

研究課題番号	3RF-1803
研究課題名	廃プラスチックからの選択的有用化学品合成を可能にする固体触媒プロセスの開発
研究実施期間	平成30年度～令和2年度
研究機関名	大阪市立大学
研究代表者名	田村 正純

1. 委員の指摘及び提言概要

地域社会との連携であるとか地域循環再生圏の創造など、今日的な環境問題のターゲットを視野に入れていることが評価できる。社会実装や環境貢献を視野に入れる点で積極性が認められる。固体触媒による廃プラスチックの分解と有用成分の取り出しが可能になった点は高く評価できる。カーボンニュートラルの時代になると炭素源が不足しこのような技術の生産物は付加価値が高くなる時代が待っている。実用化に向けたコンソーシアム体制の検討もなされていること、企業との共同研究も実施されていることから、十分な成果が得られているものと判断する。研究の中核はポリエチレン系プラの低温での分解での液体アルカンを回収する触媒開発であり、その面ではルテニウム・セリアの開発の研究目標を達成している。触媒の実用化を進めるとともに、コンソーシアムを活用した地域循環共生圏の構築につながる取組となることを期待している。

2. 採点結果

評価ランク：A